



NPO法人みどりのゆび

会報 平成24年(2012)年新春発行



明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



新年のご挨拶

フットパス・イベント(9月~12月)

あけましておめでとうございます。
 昨年1年を振り返りますと、多分皆さんが一番気が付かれることは、ホームページや会報に現れていると思いますが、今までに増して活動が充実してきたことです。その訳は最近、事務局は有力な人材が協力してプロジェクトを進められる体制が整ってきたからです。これからますますフットパスの意義を広くお伝えするために事務局一同鋭意努力してまいります。
 「みどりのゆび」の目標はウォーキングをすることではなく、ウォーキングをすることによりご自分の地域やご自分の森を愛する方々が増え、自分たちの地域やまちをもっとよくなっていくという活動が広がり、子供たちに豊かな将来の社会を残すことです。その意味では、昨年の活動の中で特に目覚しかったことは、小野路でのフットパス・ウォーキングが定着し、次の段階として計画されている地域の農業再生プロジェクトの着手元年になったことです。幸いなことに私たちは、小野路の93歳の長老、広瀬儀平さんと恵泉女学園大学という強力な協力者を得ることができて、大犬久保の田んぼは若い人や子供たちでよみがえり、小野路宿緑地全体が明るく楽しくなりました。特に最近、女子学生さんを初め、若いファミリーや若い指導者の方たちがよく訪れてくださるようになり、小野路の里山のまちづくりは若い人の参加を得て本格化してまいりました。
 また、九州や東北などから小野路へ視察にきていただきました。企業さんからもフットパスは関心を持っていただけるようになり、積水ハウスさんからは寄付をいただき道標にさせていただきました。JTBさんも視察にみえました。今年はフットパスも少し広く、三浦半島や首都圏まで拡張してみたいと思っております。農業再生もさらに進めて田んぼ作り、畑作りなどを拡充していくつもりです。またフットパス活動を広く知っていただくために「日本フットパス協会」を支援して中央省庁を巻き込んだイベントなども順次行っていく所存です。
 今年もどうぞよろしく御願い申し上げます。

第1回【新治市民の森から三保市民の森】

9. 27 参加者14名 十日市場駅~中山駅 講師;松本清

クヌギ、コナラ、スギ、ヒノキの山林に谷戸が入り込んで、とても都会の中とは思えない深い森を形成している二つの市民の森を散策し、横浜の原風景に触れた一日でした。



第2回【四季の森、ブルーシア】

10. 31 参加者17名 中山駅~鶴ヶ峰駅 講師;松本清

「四季の森」を抜け、「横浜動物公園ブルーシア」でお昼。午後は導水路に沿っている「ふるさと尾根緑道」を歩き、島山重忠ゆかり遺跡、さらに白根不動尊、そして、帷子川親水緑道を歩きました。
 久しぶりの動物園、快適な尾根の鎌倉街道が導水路、緑道として残され、歴史ある古戦場、神社と最後には、治水対策の緑道と盛りだくさんのテーマを楽しみました。



第3回【横浜市中山から日根不動尊まで】

11. 4 参加者18名 中山駅~鶴ヶ峰駅 講師;宮田太郎

中山駅から尾根道をほぼ直線的に南下し白根神社までのコースを歩きました。
 この尾根道は鎌倉街道中ノ道です。大部分が尾根道であり、いかにも鎌倉街道らしく思われました。



里山保全活動

中山地区の相原家の祖である鎌倉時代の百姓武士の話、杉山神社考の話、名木古木桜、白根不動明王の話など今日も宮田先生から大変楽しく学ばせて頂きました。



【里山保全;小野路 大犬久保の稲作作り】

恵泉女学園大学との協働農業プロジェクトCSAの一環として大犬久保の休耕田の再生を行いました。地元の広瀬儀平氏(94歳)と小林氏のご指導で稲作を行いました。



第4回【震災と環境 ゼロエミッションハウスバス見学会】

11. 13 参加者7名 茨城県古河市 講師;高見沢邦郎

「積水ハウス夢工房」と「ゼロエミッションハウス」を見学しました。その後足尾銅山からの公害の鉱毒の河川の氾濫による流出に対処するために、鉱毒を沈殿させ、無害化することを目的に作られた渡良瀬遊水地を見学しました。



【道標整備(11/5,12/17)と竹林管理(12/17)】

古くなって傷みの激しい道標を新しく作り替えました。これは積水ハウスからのご寄附の有効利用ということで、道標には積水ハウスのロゴマークも入れました。



「みどりのゆび」で管理している竹林を、恵泉女学園や東京農大の方々、町田市の関係者の方々、会員の皆様で、竹の間引き伐採等を行いました。来年、またおいしいタケノコをいただきます。



第5回【鶴ヶ峰の畠山重忠伝説編】

12. 2 講師;宮田太郎

天候不順のため延期しました。

第6回【瀬谷・追分・矢指市民の森と長屋門公園】

12. 16 参加者11名 三ツ境駅～希望ヶ丘駅 講師;松本清

この3か所の市民の森は、瀬谷が境川支流の和泉川の源流、追分と矢指が帷子川の支流の矢指川の源流です。スギや雑木林の森林を歩き、落ち葉の舞い降りる姿にしばし童心に戻りました。そして、長屋門公園は昔の農村生活の再生ゾーン、湧水の流れ、茅葺きの古民家と広い庭でのおもてなしのお茶と小さなおまんじゅうがよかったです。



管理作業の場所 案内図



さらに、「NPO法人みどりのゆび」と検索していただくと、下記の2つのホームページがご覧いただけます。

1. NPO法人<みどりのゆび>;「みどりのゆび」のホームページ、各種お知らせをタイムリーに掲載しています。
2. NPO法人「みどりのゆび」Facebook; イベントの写真・動画を掲載、皆様のコメントをお待ちしています。

フットパス活動

日本フットパス協会総会開催 山形県長井市10/1(土)～2(日)

【介護予防ウォークへ参加(10/23)】

みどりのゆびの支援事業の一つの鶴川第二高齢者支援センター主催の介護予防ウォークが行われました。宮田太郎先生の案内で「義経伝説と四天王亀井六郎の館の謎」を追って、鶴川から鶴見川沿いに下麻生、麻生団地、月読み神社、麻生不動、白山神社、むじなが池、真福寺跡、茶臼山を抜けて柿生へのコースを歩く。高齢者とも言えない健脚揃いの参加者40名。みどりのゆびから5名参加。

【裏磐梯エコツーリズム協会の訪問(11/17,18)】

11月17日、18日に、裏磐梯、福島県北塩原村の檜原湖近辺で活動している裏磐梯エコツーリズム協会から、伊藤会長、真野副会長、スタッフの鈴木さんが小野路を訪れました。地域資源の魅力を伝える方法としてフットパスを取り入行きたいということでした。



【「日本フットパス協会」企画委員会(11/23,24)】

「みどりのゆび」や他のフットパス自治体及び団体で結成されている「日本フットパス協会」は、設立後3年を経て、今後の活動や運営について検討する企画委員会を設置いたしました。今回第一回企画委員会が開催され、来年5月に総務省から椎川自治財政局長をお迎えして、町田でシンポジウムを開催することなどの新企画や、運営を支える新体制について話し合われました。

企画委員会のメンバーは現在のところ、新川雅幸(黒松内町)、小川巖(エコ・ネットワーク)、浅野敏明(長井市)、佐藤五郎(最上川リバーツーリズムネットワーク)、神谷由紀子(みどりのゆび)、宮田太郎(歴史古街道団)、唐澤祐一(町田市)、尾留川朗(みどりのゆび理事)、安藤源照(みどりのゆび理事)、小池晃(町田市)、浜田孝正(美里ホールディング)、中村正樹(甲州市)、高木恵美子、川西町の色魔良一・小林善久両氏、三森氏(甲州市)の11名です。

10/1; 山形県長井市で開催された日本フットパス協会総会に事務局から4名参加。年々加入団体が増えて活気を増してきています。神谷事務局長が退任された茶谷理事に代わって、日本フットパス協会の理事に承認されました。

10/2; エクスカーション参加 長井の街中と最上川フットパスを歩く。冬の訪れを前に風が冷たかったものの、ウォーク日和りに恵まれ、豪商の並ぶ蔵の町を抜けて、金色に輝く稲田、朝日連峰を眺め、最上川の川音を聴きながらのウォークは心む素晴らしいものでした。お昼には地元の方々から旬の芋煮、ずんだもちなどのおもてなしをいただきました。



フットパスガイドマップ2

町田市域には、フットパスにふさわしい昔ながらの里山風景、雑木林、田畑、古街道、歴史の面影などが随所に残されており、これらを繋ぐことにより、魅力あるフットパスコースを数多くつくるのが可能です。

町田市では、その中でも特に楽しめるコースを、長年多摩丘陵を中心にフットパス活動を行っている「NPO法人みどりのゆび」との協働で開発し、今年のみどりのゆびから好評の既刊「まちだフットパスガイドマップ」に引き続き、町田の魅力力をさらに発掘して「まちだフットパスガイドマップ2」を刊行いたしました。市内の書店でのご購入、または、事務局へご連絡をお願いします。



お友達へご紹介ください。



NPO法人みどりのゆびは、「みどりのゆび」の精神を持って、ちょうどみどりのゆびを繋ぐように、多摩丘陵や日本の里山が美しい風景や緑に満ちた道で繋がっていくことを願っています。そして、このみどりのまちづくりによって日本中のまちや人々がゆたかで幸せになることを目指しています。

また、緑地保全ばかりでなく、緑の主な担い手である農業者に安心して農業を営める将来を、市民に健康で安全で豊かな生活を、そして未来の子供対に緑を残す「しくみ創り」を実現するために、「みどりのゆび基金」の設立、税制や都市計画法の改正支援、安全な食物の流通設計、環境教育など、様々な事業や活動を行います。

私たちの活動の意義にご賛同して下さる方、ウォーキングや管理作業などのお好きな方など、どなたでもお気軽にご参加ください。また会員になっていただくと、イベントのお知らせ、会報の送付をいたします。入会金無料、年会費2000円です。

NPO法人「みどりのゆび」事務局

Tel 042-734-5678 Fax 042-734-8954

Email : info-m@midorinoyubi-footpath.jp

<http://www.midorinoyubi-footpath.jp/>

<http://www.facebook.com/midorinoyubi.footpath>